

しあわせ 福祉

社会福祉法人池田町社会福祉協議会
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1628-2
池田町福祉センター内
☎45・8123 FAX45・9604
Eメール:syakyou@town.ikeda.gifu.jp
ホームページ:<http://www.gifu-ikeda-syakyo.jp>

2024
7
vol.207

この「しあわせ福祉」は赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

地区福祉連絡会総会＆福祉研修会が 町内7地区で開催されました

4月～6月にかけて地区福祉連絡会総会が各地区で開催されました。地区福祉連絡会は区長さんや民生児童委員さん、福祉委員さんなど地域の福祉関係者の連携を図るとともに各区での地域福祉活動の増進を目的として活動しています。



総会では令和5年度の事業報告及び令和6年度の事業計画について協議した後に福祉研修会を開催しました。社会福祉協議会から地域の見守り活動についてお話をさせていただいた後に、地区によってはミニ懇談会の開催をしたり見守り活動の話を役員さんから聞いたりする機会をもちました。



- * 障がい者相談 7月 9日(火)
- 7月14日(日)・7月22日(月)
- 8月 4日(日)・8月26日(月)
- * 生活相談 7月16日(火)・8月20日(火) ※予約制(前日まで)
- * 法律相談 8月27日(火) ※予約制(前日まで)・利用料1,000円

場所 福祉センター 相談室
時間 午後1時～4時
問い合わせ・申し込み
池田町社会福祉協議会
☎45・8123

町民の皆さんからの会費や町補助金、寄付金、共同募金の配分金などを財源として、関係者の皆さんのご協力により、下記の通り事業を実施することができました。事業報告・収支決算は次の通りです。

- 子どもの遊び場補修事業の支援 (共同募金配分金事業)
 - 補助区：7カ所
- 災害救援対策事業の実施 (共同募金配分金事業)
 - 大規模災害に備え災害に強い町づくりをめざすために、町・揖斐郡消防協会合同総合防災訓練時に災害救援ボランティアセンター開設訓練を実施
 - 災害ボランティア活動依頼および炊出し受け取りを体験する防災セミナーを実施

5. ボランティアセンター事業

- 福祉出前講座の開催 (会費)
小・中学校延べ6日間、延べ299人参加、各種体験セットの貸出



- 福祉協力校(6校)・協力園(1園)の指定 (共同募金配分金事業)
- ボランティア連絡協議会との連携・活動支援
- ボランティア保険加入の援助
- ボランティア派遣・養成事業
福祉サポート研修：2回コース 延べ88人参加

6. 当事者支援関係事業

- バースデイサービス事業の実施(609人) (共同募金配分金事業)
- コミュニティママ子育てサポート事業の実施 延べ74人、161.0時間の利用
 - 集団託児(延べ36人 34時間の利用)
- 福祉用具の貸与事業の実施(31件) (会費)
- 通所型介護予防事業(介護予防教室)
 - 足・脳梗塞教室(143人参加)
 - 転倒予防のための姿勢美人・美男教室を開催(105人参加)

- 自由空間(173人参加)
- 家族介護者交流事業の実施(在宅介護者の集い) (12回、延べ74人参加)
- 日常生活自立支援事業への支援(契約件数3件)
- 障害者支援事業 (共同募金配分金)
 - 障害者福祉連合会によるクリスマス会の実施
- 病児・病後児保育事業の実施 (利用者131人、内、多子世帯無料化事業利用52件)
- 居場所づくり事業
 - カラソコロンの実施(延べ7人利用)

7. 介護保険関係事業

- 居宅介護支援事業の実施 (延べ860人(要支援延べ183人、要介護延べ677人))
- 訪問介護・介護予防訪問介護事業の実施
 - 訪問介護(利用者5人、延べ994.8時間)
 - 介護予防(利用者3人、192.75時間)

8. 生活福祉資金貸付への支援事業

- 貸付に関する相談援助活動の実施(相談34件)
- 生活困窮者世帯に関する相談支援事業 (支援調整会議6回、緊急食料支援利用者4人、歳末助け合い食料支援等(延べ14人))

9. 障害福祉サービス事業

(居宅介護・放課後等デイサービス・相談支援事業)

- 障害者居宅介護事業の実施 (身体2人、精神1人利用)
- 放課後等デイサービス事業の実施 (利用者延べ243人)
- 相談支援事業
 - 特定相談支援(計画作成件数37件)
 - 障害児相談支援(計画作成件数53件)

10. 障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家運営事業

(ふれ愛の家運営事業の概況)

- 生活介護事業(定員23人)就労継続支援事業B型(定員22人)の多機能型施設
- 生活介護(利用者23人)
- 就労継続支援B型(利用者15人)
- げんき祭の実施
- ふれ愛ホーム運営事業(利用者12名)

令和5年度 池田町社会福祉協議会 事業報告・収支決算

【おもな活動内容】

1. 法人運営事業

- 理事会・評議員会の開催
 - 理事会(5回)、評議員会(4回)の実施
- 社協会費の拡充
 - 一般会費・法人会費・施設会費の協力依頼
会費総額: 7,274,000円
- 戦没者追悼式
 - 人数を制限して開催
参列者: 遺族会など 約67人

2. 調査企画事業

- 健康・福祉・エコフェアいけだ (共同募金配分事業)
 - 新型コロナウイルス感染症予防のため中止となるが、町民の皆さんと、日常生活において身近な福祉を知る機会の場となることを目的とした「福祉の作品展」を開催し、入賞作品を池田町総合体育館に掲示した



- 広報啓発事業 (共同募金配分事業)
 - ホームページの作成
 - 広報誌「しあわせ福祉」の発行 (年6回・奇数月)
- 町との共催の福祉運動会 (共同募金配分事業(一部))
 - 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

3. 総合相談事業

- 法律・生活・結婚・障がい者・ボランティア・訪問相談などの実施 (相談数: 447件)

4. 地域福祉推進事業

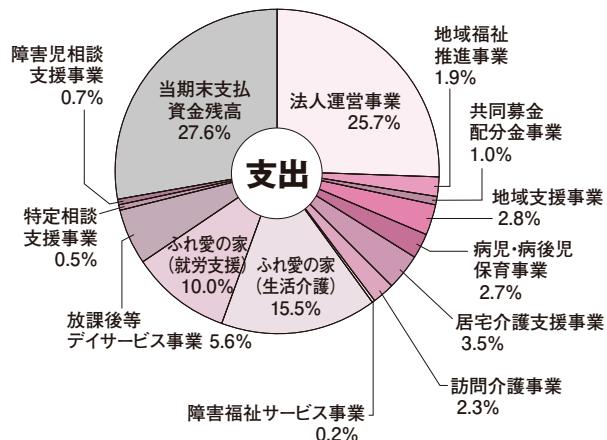
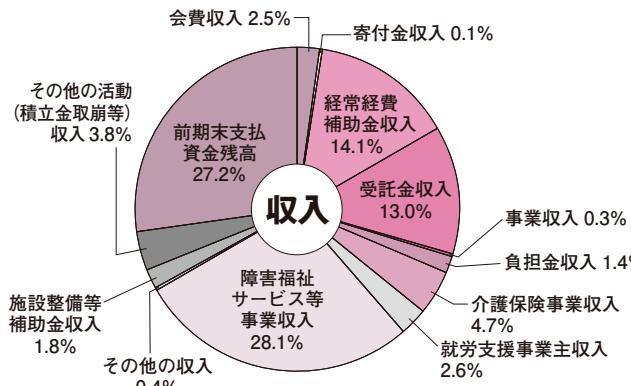
- 地区福祉連絡会 (会費)
 - 地区福祉懇親会の開催(257人参加)
 - 各地区福祉連絡会事業の支援
- 小地域ネットワーク事業の推進 (会費)
 - 各区の福祉会活動の支援
- 食事サービス事業の実施(ふれあい型) (会費・共同募金配分事業)
 - 町内6地区の食事サービスボランティア団体の協力のもと、月2回の「まごころ弁当」1月には「おめでとうセット」としておせち料理を取り入れるなどした弁当を調理し見守り活動兼ねた配食を行った
 - 食事サービスボランティアの食品衛生研修を開催
- 各種交流事業
 - 多世代ふれあい事業、ふれあいいきいきサロン開催支援 (サロン開催延べ168回、多世代ふれあい事業21地区)、いきいきサロン研修会の開催



- 地域のささえの場づくり支援事業(6福祉会)
- 安心見守りネットワーク推進事業の実施 (会費)
 - 安心見守り隊による見守りが必要な方(247人)への訪問活動の実施
- 認知症センター養成講座の開催 (3回、認知症の理解と対応について延べ88人受講)
- 福祉委員会
 - 役員会の開催
- レクリエーション用具貸与事業の実施
 - ふれあいいきいきサロンなど、楽しい時間を過ごしていただくために、レクリエーションなどの用具を整備し貸与事業を行った(58件)

令和5年度 池田町社会福祉協議会 決算報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日



(単位：円)

収入	
勘定科目	決算額
会費収入	7,274,000
寄付金収入	263,959
経常経費補助金収入	41,266,630
受託金収入	37,810,500
事業収入	907,465
負担金収入	4,001,009
介護保険事業収入	13,824,930
就労支援事業収入	7,481,093
障害福祉サービス等事業収入	81,891,180
その他の収入	1,191,629
施設整備等補助金収入	5,285,800
その他の活動収入	11,121,133
前期末支払資金残高	79,447,975
合計	291,767,303

(単位：円)

支出	
事業名	決算額
法人運営事業	75,036,271
地域福祉推進事業	5,530,926
共同募金配分金事業	2,904,173
地域支援事業	8,300,950
病児・病後児保育事業	7,830,480
居宅介護支援事業	10,193,672
訪問介護事業	6,615,337
障害福祉サービス事業	438,741
ふれ愛の家(生活介護事業)	45,311,167
ふれ愛の家(就労継続支援事業)	29,259,216
放課後等デイサービス事業	16,382,343
特定相談支援事業	1,567,033
障害児相談支援事業	1,997,151
当期末支払資金残高	80,399,843
合計	291,767,303

新任福祉委員研修会を開催しました

5月23日(木)に令和6年度より新たに委嘱された84名の福祉委員の皆さんを対象に「新任福祉委員研修会」を開催しました。福祉委員制度は地域に住む誰もが安心して暮らせるよう、お互いに助け合う地域福祉活動の推進を目的として池田町では平成4年から導入されています。

研修会では地域の見守り活動やいきいきサロンなど、各区で行われている地域福祉事業についての紹介の後に、いきいきサロンなどで使っていただける簡単なレクリエーションを、池田町レクリエーション協会の方を講師に迎え実技も交えての講義をおこないました。講師の方の「まずは自分が楽しむことが大事。『楽しい』という気持ちは伝わりますよ」という言葉が印象的でした。

今年度は今回研修を受けられた84名の福祉委員の皆さんを含め334名の福祉委員の皆さんにお世話になります。どうかよろしくお願ひいたします。



食事サービス「食品衛生研修会」を開催しました

令和6年4月23日に保健センターの管理栄養士高崎様をお迎えし、食事サービスボランティアの方を対象に食品衛生および高齢者の食事に対する注意事項について研修会を行いました。

36名の調理ボランティアの方々にご参加いただき、食中毒の原因、予防方法などをくわしく教えていただきました。今後のまごころ弁当作りに役立てていけたらと思います。

※現在町内6地区の食事サービス団体がまごころ弁当の配食サービスを行っています。お弁当作りに調理ボランティアとして一緒に活動しませんか？興味のある方、どんなことをするのかな？話をくわしく聞いてみたい…と思われる方、ぜひご連絡下さい。



社会福祉協議会 ☎45・8123

公式インスタグラムはじめました！

池田町社会福祉協議会の公式Instagram（インスタグラム）を開設しました！

地区福祉活動、ボランティア活動などの地域活動や講座・イベント、また本会の取り組みについて掲載していきます。

皆さんのフォローをお待ちしております！

アカウント名：@ikeda_syakyo



©IKEDA_SYAKYO

池田町シルバー人材センター

草刈機操作講習会受講者募集

池田町シルバー人材センターでは、高齢者の生きがいづくりと技術習得を目指した技能講習会を開催します。おおむね60歳以上で健康で働く意欲のある方なら、どなたでも参加していただけます。受講料は無料です。ぜひご参加ください。

講習日：令和6年8月2日(金)

時 間：午前10時～正午

場 所：池田町八幡公民館

定 員：20名

申し込み締切日：令和6年7月26日(金)

申し込み方法：同センターへ本人が直接お申し込みください。(電話申し込み可)

氏名、生年月日、住所、電話番号をお伝えください。

備 考：草刈機をお持ちの方はご持参ください。

申し込み・問い合わせ：

池田町シルバー人材センター

池田町本郷1628-2(福祉センター内)

☎ 45・7629



池田ふれあいサポートセンター

放課後等ディサービス とらいあんぐる

梅雨はまだ続くようですが、時折顔を見せるお日様が夏の訪れを感じさせます。今年の七夕は、天の川に橋がかかるでしょうか？キラキラと目を輝かせて、子ども達が短冊に願いを込めてくれました。どうか叶いますように…。◆(°▽°)◆。

とらいあんぐるでは、熱中症が心配されるこの季節、特に水分補給や室温管理に気を付けるよう努めています。子ども達の体調を見守りながら、元気に笑顔で一緒に楽しい夏を過ごしていきたいです。



申し込み・問い合わせ
池田ふれあいサポートセンター
☎45・3916(平日8:30-17:15)

また、地震発生後の火事からの避難も落ち着いて行う事ができ、避難後に行う人数確認の報告は2分程度で完了しました。災害はいつ起きるか分かりません。休み時間や外出先などで発生するかもしれません。いざという時に、適切な行動を取る事が出来る様にご利用者、職員共に訓練を通して経験を積む事で、今後に生かしていこうと思っています。

コミュニティママ子育てサポート事業(コミママ)

サポート会員募集中!

地域の子育て応援！

心身共に健康で子どもが好きな方

資格や性別、年齢は問いません

ご都合のつく時間に活動

「コミママとは…」

コミュニティママ子育てサポート事業(通称:コミママ)は子育ての援助をしてほしい人(利用会員)と子育ての援助を行いたい人(サポート会員)が会員となって子どもの預かりなど、一時的な子育てを支援する有償のボランティア事業です。池田町の委託を受け、池田町社会福祉協議会が実施しています。

「コミママ会員の活動内容は…」

預かり

児童館、支援センター等で
預かりを行います。

※宿泊、病児の預かりはありません。

※送迎は行いません。

自分にできそうなことがあるかな?
と思われましたらお気軽にサポートセンターまでお問い合わせください。

育兒支援

授乳や沐浴等の支援を行います。



ミママの預かりの様子♪

もし、今地震が起きたらすぐに机の下に隠れる事が出来るでしょうか？火事が起きたら落ち着いて避難できるでしょうか？

ふれ愛の家では年に2回避難訓練を行つていま
す。今回は地震の後に火災が発生し、ふれ愛の家
から避難という想定で実施しました。障害特性で
突然の変化に対応出来ない方も多いのですが、
避難訓練ではみんな机の下にすぐに隠れる事が
できました。

また、地震発生後の火事からの避難も落ち着
いて行う事ができ、避難後に行う人数確認の報告
は2分程で完了しました。災害はいつ起きるか
分かりません。休み時間や外出先などで発生する
かもしれません。いざという時に、適切な行動を
取る事が出来る様にご利用者、職員共に訓練を
通して経験を積む事で、今後に生かしていこうと
思います。



避難訓練をしました。



問い合わせ 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家 ☎44・1877

4年 総合的な学習「お年よりとふれ合おう」

4年生では、総合的な学習の時間に、高齢者について知り、ふれ合うことをテーマに学習しています。はじめに、池田町社会福祉協議会の方のお話を聞き、高齢者への接し方や町で行っている高齢者福祉について学びました。また、高齢者疑似体験のセットを使って高齢者の身体的な変化を体験し、思うように体を動かせないことを実感しました。その後、一人一人が課題をもって調べ学習などを進める中で、高齢者のために自分たちでできることを考えました。



2月には「リハビリセンター白鳥」を訪問し、高齢者と交流しました。一年間学んできたことを生かし、どうすれば高齢者が喜んでくださるのか、どんな話し方をするといいのかなどを、よく考えて準備をし、交流することができました。

池田町立池田小学校 福祉活動 ～福祉協力校の活動紹介～

6年 総合的な学習「池小マルシェ」

6年生では、総合的な学習の時間に、SDGs（持続可能な開発目標）について学びます。昨年度、「つくる責任、つかう責任」について考え、使える物を無駄にしないことでごみを減らしていく活動として、「池小マルシェ」を提案、企画しました。

「池小マルシェ」には、鉛筆や消しゴム、ノートやクリアファイルなど新品の文房具や、アルミ缶、ペットボトルキャップを持ち寄った児童が参加し、買い物をします。ペットボトルキャップをお金に見立て、個数に応じて、持ち寄った文房具と交換するというしくみです。6年生は、事前に下級生に「池小マルシェ」の内容を分かりやすく説明しただけでなく、地域の方にもチラシを配つて協力していただき、使われずに家の内で眠っていた文房具をたくさん集めました。協力していただいた地域の方には、古紙で作ったメモ帳や、手作りの雑巾などをお礼として渡しました。

「池小マルシェ」当日には、校内の多目的ホールにペットボトルキャップの個数に応じたブースを作つてたくさんの方々が並べ、そこへペットボトルキャップを持った下級生が訪れ、買いました。



ペットボトル・アルミニウム回収

池田小学校では、JRC委員会が中心となってアルミ缶とペットボトルキャップの回収を行っています。昨年度集まつたアルミ缶は現金に換金して社会福祉協議会に、また、ペットボトルキャップは業者に委託して「ペットボトルキャップを集めて、世界の子どもたちを救おう」の活動に、それぞれ寄付しました。このようにお金になつたり、ワクチンで子供たちを救えたりすることを全校に伝え、今後も活動していきたいと思います。